



2020年4月30日

各 位

会 社 名 株式会社ダスキン  
 代表者名 代表取締役 社長執行役員 山村 輝治  
 (コード番号：4665 東証第一部)  
 問合せ先 執行役員 経営企画部長 大久保 裕行  
 電話 06-6821-5071

### 取締役会の実効性に関する評価結果概要についてのお知らせ

当社は、持続的な成長と中長期的な企業価値向上を図ることを目的として、取締役会全体の実効性に関する分析・評価を実施いたしましたので、その結果の概要について下記のとおりお知らせいたします。

#### 記

#### 1. 分析・評価の方法

- (1) 取締役会は、すべての取締役、監査役に取締役会全体の実効性に関する分析・評価を実施する趣旨等を説明、理解を得た上で、第三者機関によるアンケートを実施いたしました。

実施期間	2019年12月23日～2020年1月17日
評価対象期間	2019年4月～2019年12月に開催した当社取締役会（全15回）
アンケート質問概要 （大項目）	① 構成 ② 運営 ③ 取締役・監査役に対する支援体制 ④ トレーニング ⑤ 株主（投資家）との対話 ⑥ 自身の取り組み ⑦ 総括

- (2) アンケート結果集計の後、取締役会から委任を受けた「社外役員会議」（独立役員に指定している全社外取締役3名・社外監査役3名で構成される会議）が、集計結果を基に、対象期間における取締役会の取り組みについて多角的視点から分析・評価を実施し、取締役会に対して、2020年3月期中の総括及び2021年3月期に取り組むべき課題の提言を実施いたしました。

- (3) 社外役員会議からの提言を基に、更なる実効性向上に向けて取締役会にて討議いたしました。

#### 2. 評価結果の概要

分析・評価実施期間	2020年2月7日～2020年3月19日
取締役会の実効性について	社内社外を問わず各取締役から自由闊達な発言があり、十分な審議を基に決議されており、概ね実効性は確保されている。また、更なる実効性向上に向けた取り組みにも努力している。

#### (1) 前年度の課題に対する取り組み状況

前年度の課題	取り組み状況
経営戦略等に関する審議の一層の充実を図る。	事業ポートフォリオの点検とその適正化に向けた検討、並びに財務政策及び各種投資の資源配分に関する検討の定期的な実施 <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 新たな投資案件の是非検討機関として「投資評価会議」を新設、運用を開始</li> <li>・ 個別事業のポートフォリオ分析に基づく各事業の方向性を討議、それに基づく次期の政策検討会議を開催</li> </ul> 決議事項に関する定期モニタリング <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 各部門の政策について、取締役会における月次報告時に進捗確認を実施</li> </ul>

前年度の課題	取り組み状況
取締役会の構成についての検討を継続する。	<p>現任取締役及び次世代取締役候補人材の選抜、育成、登用についての共有化</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・次期の経営陣選出方針を共有した。</li> <li>・客観的な視点と公平性を確保するために、「取締役評価検討会」の構成を当期より社外役員のみに変更し運用開始した。同検討会の検討結果を踏まえて次期取締役候補、次期執行役員を決定した。</li> <li>・次世代役員候補の選任基準とプロセス等を明確化したサクセッションプランを策定し、共有化した。</li> </ul> <p>現任取締役、次世代取締役候補人材に対するコーポレート業務や企業統治関連のトレーニング</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・当期は実施には至らなかったが、サクセッションプランの「教育プログラム」に基づき、経営執行・業務執行に必要なトレーニングの次期実施計画並びに、次世代役員候補者を対象とした研修計画を作成した。</li> </ul>

(2) 今後の取り組み

当社取締役会は、今後も取締役会全体の更なる実効性の向上を目指した不断の議論を継続してまいります。2021年3月期につきましては主に以下について取り組んでいくことといたします。

2021年3月期の取り組み課題	<p>①企業価値向上に向けた戦略等に関する議論を充実させ、監督機能の実効性を高める。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・当社グループの成長を実現するために、バリューチェーン全体の検証を行う。</li> <li>・その上で、具体的目標を設定し、資本コストを意識した果敢な経営判断を行うと共に定期的な進捗確認を行う。</li> </ul> <p>②全社レベルの事業ポートフォリオの適正化に向けた議論の一層の充実を図る。</p> <p>③経営環境の変化と経営戦略に対応した組織の機能及び執行役員の役割についての議論深化を図る。</p>
-----------------	---

以上

本件に関する報道機関からのご照会は、以下へお願い申し上げます。

株式会社ダスキン 広報部 電話06-6821-5006